フィリピン留学ドットコムがおススメする！！
英語研修＆ソーシャルアクションプログラム in イロイロ

プログラム概要

マンツーマンで英語を学び、ボランティアやホームステイでフィリピンの社会体験！

フィリピン留学の醍醐味、マンツーマンレッスンをイロイロにあるフィリピン大学付属のLanguageセンターで学びます。滞在先は寮ではなく、フィリピン留学では珍しいホームステイ。英語授業以外の時間は、ボランティアやワークキャンプを通じて、有意な社会体験をすると同時に、フィリピンについて理解を深めることができます。

フィリピン留学では、英語留学を目的としていきますが、その他フィリピンでボランティアや現地の方々と密な触れ合いをしたい！と思っても、現地でNGO団体を自分で探すのは面倒だったり、難しかったり・・・という方も多かったと思います。そこで、フィリピンはイロイロ市のNGOで、日本とフィリピンの青年ボランティアが交流型アクティビティを通した草の根協力を実施している団体と、今までフィリピン英語留学に力を入れてきたフィリピン留学ドットコムとの、共同英語研修プログラムが生まれました！英語を習得したいけれど、せっかく行くなら現地のことを学びたい！有意義な留学生活にしたい！という願いをどちらも叶える、良いとこ取りのプログラムとなりました。

当プログラムは２週間までの短期プログラムとなりますが、フィリピン留学ドットコムのおススメは、プログラム終了後、他の語学学校に転校し、本気で英語を学ぶ！という流れです。
１～２週間、フィリピンの事をマンツーマン英語研修やワークキャンプ等を通じて学び、その後は他学院で英語の勉強をしながら、週末はNGOの活動に参加していったり、活動を通してできた友人と何かを始めたり・・・
勉強も、それ以外も、充実した留学生活を送りたい方にお勧めです。
イロイロにある学院（C&C・We Academy）やお隣の島バコロドにある学院（EROOM・LSLC）へのご転校であれば、NGO活動地へのアクセスはスムーズです。バコロド～イロイロ間は、ボートで１時間半ほどです。

またこのプログラムは現地NGO法人のファンドレイジングです。参加者1名につき、貧困家庭の子ども1名の就学を一定期間サポートします。フィリピン人ユースメンバーと協力し、フィリピンの貧困解決に向け社会変革につながる行動を目指します。

英語留学だけでは見えてこないフィリピンが見えてくる。フィリピンが好きになる。
一味違ったフィリピンを、勉強・体験してみませんか？！

英語研修について

“One-on-One Tutorial”
フィリピン大学（UP）ビサヤ校のランゲージセンターに登録し、１日５時間のマンツーマン授業を受けます。
初日に診断テストで英語能力を判定し、参加者のレベルに合わせ、会話、聞き取り、読み書き、
文法など伸ばしたいスキルをピンポイントで学ぶことができます。午前に1.5時間授業が2回、
午後に2時間授業が1回です。

“テーマに沿って論文発表“
自分の興味のあるテーマで、ディスカッションやリサーチを繰り返して、最終日に論文を発表します。
（テーマの例：「日本とフィリピンの恋愛観の違い」、「幸福感の違い」：「フィリピン海洋環境」、「若者の時間の使い方」、「宗教について」など）

“Field Trip”
週25時間のうち2～3時間は、キャンパスを飛び出して、フィリピン社会をじかに学びます。
（フィールドリップの例：ダウンタウン探索・世界遺産の教会を訪問・映画鑑賞ディスカッション・食文化を楽しむツアー・カラオケ体験・ショッピングモール・ビーチ遠足・大学キャンパスツアー、墓地巡りなどがあります）

１日の流れ　（※サンプルです）	
-09:00	ホームステイ先からUPへ通学
09:00-10:30	マンツーマン授業１
10:40-12:10	マンツーマン授業２
12:10-13:00	昼休み
13:00-15:00	マンツーマン授業３
15:00-16:30	自由学習
16:30-18:00	フィールドトリップやNGO活動視察など
19:00-	ホームステイ先へ帰宅

ソーシャルアクションについて

英語の勉強だけでなく、フィリピン社会を知り、体験し、社会変革につながる行動を探していくのが、ソーシャルアクションです。
教育ボランティア活動として、ごみ投棄場にあるラーニングセンターで、放課後の時間、両親がごみ山で働いている時間に子ども達を預かって面倒をみます。英語の絵本のよみきかせなどを行っています。
また週末には60～80人の子ども達が英語を使ったファンアクティビティで学べるよう、フィリピン人青年リーダーらと企画から参加します。
手作りの栄養食も配ります。
日本人参加者にとって、企画から実施までの過程で、英語をブラッシュアップする機会になります。

またボランティアではなく、自分の興味のあるテーマでスタッフとアクティビティ内容を組むことも可能です。
例えば小学校を訪問して授業を見たり、病院を訪問して関係者にインタビューをしたりと自由に企画ができます。
また過去にはフェアトレード生産者との交流や、ごみ山での家庭訪問やリーダーシップトレーニング等がありました。

フィリピン大学でのマンツーマン授業（5時間）は午後3時に終わります。夕方はフィリピン社会をもっと知ることを目的とした教育ボランティアやスタディツアー型のアクティビティを行います。英語の勉強だけじゃなく、フィリピンの社会から学び、社会変革につながる行動を考えるのがこのソーシャルアクションの時間です。

午後3時以降、６時までの活動 （サンプル）			
	1週間目	2週間目	３週間目
月	Child Minding（学童）	Child Minding（学童）	基本Child Minding（学童保育）ですが、宿題をしたり、ショッピングに行ったり、疲れている時はホームステイに戻ったりと自由時間になります。
火	ごみ山スタディツアー	マイクロファイナンス機関訪問	
水	小学校の授業参観	Child Minding（学童）	
木	フェアトレード勉強会	戦争について考えるツアー	
金	ボランティアミーティング	コミュニティ開発講座	
土	Kids English Activity	Kids English Activity	
日	オープンタイム（市内 or ギマラス島アメージングツアー）		

教育ボランティア活動　～ LOOBが行っている子ども達への活動をサポート！～

A. 平日夕方　Child Minding（学童）

LOOBは、イロイロ市ごみ投棄場のエリアにあるラーニングセンターでチャイルドマインディング（学童）という活動を毎日夕方16時から18時まで行っています。これは、親がごみ山で働いている間、小さな子ども達が安全に時間をすごせるよう工夫しながら面倒をみる活動です。
ボランティアが絵本のよみきかせ、映画放映、ダンス、クラフト等を日替わりで行っています。
このチャイルドマインディングは、LOOBから学資援助を受ける子ども達だけでなく、地域にオープンに解放されていて、常時20名近くの子ども達が集まっています。

B. 週末　Kids English Activity（子どもと英語で交流）

LOOBが、3つの地域で毎週末に実施している活動です。フィリピンの子ども達が英語を通して、表現力・社会性を伸ばせるよう、フィリピン人リーダー達と一緒に企画から実施までを担当していただきます。
3つの地域のうち2つはごみ山の近くのコミュニティ、もう1つは漁村のコミュニティです。
日本人参加者にとって、企画から実施まで英語をブラッシュアップする機会になります。

スタディツアー　～ 自分の興味のあるフィールドをのぞいてみよう！ ～

前ページにある教育ボランティア活動のほかに、下記のようなスタディツアー型のアクティビティを夕方に行います。
（スケジュールはLOOB側で提案させていただきます。）

【貧困】ごみ山スタディツアー
　　ウェストピッカーの家庭を訪問して途上国の環境問題や雇用の問題を知ります。
【教育】小学校の授業参観
　　英語の授業を見せてもらったり、先生にインタビューして現地の教育事情を学びます。
【経済】フェアトレード勉強会Or貿易ゲームOr 製作体験
　　世界貿易について考えたり、ジュースパック製品現場を視察できます。
【金融】マイクロファイナンス（MF）機関訪問
　　MF実施するNGOを訪問して、貧困削減への取り組みを知ります。
【歴史】戦争について考えるツアー
　　日本統治時代のイロイロ市がどのようだったかを市内を巡って学びます。
【NGO】コミュニティ開発講座
　　地図作りを通してNGOがプロジェクトを実施する時の基本的な考え方を学びます。
【ローカルライフ】市内orギマラス島アメージングツアー
　　スタッフと共に楽しみながら学べる市内ORギマラス島ツアーです。

ホームステイについて

日本では体験できないリアルなフィリピンの方々の生活。特にフィリピン留学では全寮制がほとんどですので、非常に貴重な体験になります。
家族や共同体（コミュニティ）のあり方を通して、フィリピン人の価値観にじかに触れる体験となります。
基本的に、日本人1名とNGOユースボランティア1名の2名でホームステイに入ります。ホームステイ先から学校までは 普通の公共機関を使いますが、すべてLOOBスタッフでケアする体制となりますので、ご安心ください。

*ホストファミリーは、LOOBの支援先コミュニティの方々で、受け入れてくれるご家庭は富裕層の家庭ではありません。（貧困線のちょっと上くらい）お風呂やトイレは日本と違うことを事前にご了承ください。
*1タームの場合は初日と最終日以外はホームステイ。2ターム以上の方は、2週間目からLOOBシェアハウスでの滞在というスケジュールが基本となります。

参加者の声

E．K．さん　（大阪大学、20歳女性）
　私は９泊１０日のプログラムに参加しました。参加の理由は、大学の先輩の紹介でこのプログラムについて知り、英語の勉強とボランティアが両方できるこの英語研修に魅力を感じたからです。UPの雰囲気はというと、自然いっぱいで中庭もあってとても落ち着いています。中庭ではフィリピン人の学生がお喋りしたり、勉強会をしていたり…日本の大学で見る光景とあまり変わりません。

先生はとにかく明るくて楽しい…
授業はマンツーマンで、一日5時間なので自分に耐えられるかとても不安でしたが、先生がとにかく明るくて楽しい方だったので、授業が苦になることはなかったです。二人の先生に交代で教えていただき、会話、LとRなどの発音の矯正、イディオムを使った表現などを学習しました。また、Educational　Tour（遠足のようなもの）や映画鑑賞（英語字幕のみ）の時間もあるので、楽しみながら英語を学ぶことができます。最終日にはスピーチをしなければならないのですが、英語のスピーチをなかなか英語が覚えられなくて焦っていた私を、先生は中庭に連れ出してくれてそこで何度も練習させてくれました。「大丈夫。絶対に覚えられるから!」その言葉を信じて練習し、無事にスピーチを行うことができました。
英語の先生は常に生徒が楽しく、リラックスして学べるように工夫してくれいてたと思います。

ホームステイ先ではフィリピノ語を…
ホームステイ先では、家族とテレビドラマを観ながら居間でのんびりすることが多かったです。全てフィリピン語のドラマでしたが、意外と理解できたし、フィリピン語の勉強にもなりました。家族は全員英語が話せるので会話は主に英語でしたが、私がタガログ語で話しかけるとフィリピン語で会話してくれました。ホストシスターと、フィリピン語と日本語の本を見ながらお互いに言葉を教え合ったことは忘れられません。

ボランティアは助けられながら…
週末アクティビティは、英語以外にもたくさん大切なことを学べる素晴らしい機会でした☆私は低学年の子どもたちを担当しました。
私の英語が稚拙でとても不安だったのですがフィリピン人のキャンパー達が助けてくれてなんとか無事に終えることができました。このアクティビティを通して、英語の楽しさや食べ物に対する感謝など子どもたちから学ぶことの方が多かった貴重な体験となりました。

参加スケジュール

プログラムスケジュール例　（１ターム９泊１０日の場合）	
土	午前便で日本→マニラ到着、夕方マニラ→イロイロへ
日	オリエンテーション/NGO活動の視察など
月	英語研修（マンツーマン5時間）＋ 教育ボランティア
火	英語研修（マンツーマン5時間）＋ 体験型アクティビティ
水	英語研修（マンツーマン5時間）＋ 教育ボランティア
木	英語研修（マンツーマン5時間）＋ 体験型アクティビティ
金	英語研修（マンツーマン5時間）＋ 教育ボランティア活動
土	アクティビティ企画準備 ＋ Kids English Activity
日	オープンタイム　お別れ会
月	午前イロイロ→マニラ、午後便マニラ→日本帰国

フィリピン留学ドットコムのおススメ！

プログラム参加後、そのまま帰国せず、他の学院にて留学を続けることも可能です！（日曜日学院へ入寮）

催行日程について

基本的に毎月第１土曜日より受け付けておりますが、ご相談により第２、第３土曜日からの参加も可能です。
日程についてはお問い合わせくださいませ。

プログラム参加費用

日程	参加費	基本内容	宿泊
1ターム（9泊10日）	73,000円	マンツーマン25時間 ボランティア＆体験型アクティビティ（9時間）	ホームステイまたはシェアハウス9泊
2ターム（15泊16日）	93,000円	マンツーマン50時間 ボランティア＆体験型アクティビティ（18時間）	ホームステイまたはシェアハウス15泊
3ターム（21泊22日）	113,000円	マンツーマン75時間 ボランティア＆体験型アクティビティ（18時間）	ホームステイまたはシェアハウス20泊

上記料金に含まれるもの

・イロイロ空港出迎え
・マンツーマン英語研修&ホームステイ等宿泊費
・食事（平日朝夕2食。週末3食）
・ボランティア活動にかかる諸経費
・申込金（1万円）　・NGO正会員費（3,000円）

料金に含まれないもの

・日本～イロイロ航空券（弊社で代行手配も可能です！）
・宿泊先から学校までの交通費（1日50円程度）
・昼食代（1日200円程度）
・海外留学保険
・ビザ延長費用（約7,000円～31日以上滞在時）
・ACR-Iカード取得費（約7,000円～60日以上滞在時）

【キャンセルについて】
お申し込み後にキャンセルされる場合は、弊社キャンセル規定に従って、差額ご返金をさせて頂きます。
しかし、航空券は航空券の規定に従いますのでその都度お問い合わせください。
申込日より留学プログラム開始日の29日前まで20,000円、28日前から前日まで35,000円、
開始日以降、留学プログラム費用の全額

フォトギャラリー

フェアトレード生産者訪問

ギマラス島はマンゴー名産地

急成長する都市部のごみ山

たくさんのことを教えてくれる青年リーダー

美しいサンゴ礁に囲まれた村

有名なハンバーガー店ジョリビー

元気いっぱいの児童と交流

フィリピン留学ドットコム

Dreams Comes True in the Philippines

お問い合わせ・カウンセリング予約・お申し込みは

0120-963-815

携帯・PHS OK ※携帯・自動車電話・PHSからもご利用になれます。

フィリピンに関する質問ならお気軽に!まずはお電話を!!

フィリピン留学ドットコム　検索 click

お問い合わせ・お申し込みは、ホームページ内の専用フォーム、
又はお電話ご来店で受け付けております。
お気軽にお問い合わせくださいませ！